

第24回京都国際学生映画祭

イベント in キャンパスプラザ京都

バリアフリー映画上映会

2021年11月28日(日) 13:00~17:00
(12:30開場)

会場：キャンパスプラザ京都4階 第4講義室・入場無料

12:30 入場開始

13:00 プログラム① <バリアフリー上映>

『ひとひら』(30min)

13:45 『こちら放送室よりトム少佐へ』(15min)

14:00 プログラム②

『Talker』(13min)

『ワンダフル千鳥足 in ワンダーランド』(2min)

14:40 『Young, Fragile』(25min)

15:00 プログラム③

『Home』(5min)

『GROWING PAINS』(25min)

15:40 『The Coral Guardian』(10min)

16:00 トークショー

<ゲスト>

<ファシリテーター>

木下千花氏 × 横地由起子氏 × 実行委員

17:00

京都大学教授

Brand new day 代表
京都国際学生映画祭オプザーバー

オンライン同時配信もあります！

動画共有サイトVimeoにてバリアフリー上映作品を含む全8作品の配信を行います。『ひとひら』、『こちら放送室よりトム少佐へ』はバリアフリー版・通常版どちらもご鑑賞いただけます。視聴にはVimeoへの登録が必要になります。会員登録・ログインはこちらから→ <https://vimeo.com/jp/>
詳しくは京都国際学生映画祭公式HPをチェック！



第24回京都国際学生映画祭公式HP
<https://www.kisfvf.com>

バリアフリー上映について

過去に本映画祭にて入賞した作品に対して、実行委員とボランティアの方々で音声ガイド、バリアフリー字幕を制作しました。音声ガイドを聞くための受信機の貸し出しを希望される方は、事前申し込みが必要になりますので、公式HPまたは下記QRコードより登録をお願いします。



受信機申し込みフォーム

※台数に限りがありますので先着順とさせていただきます。

Access

〒600-8216

京都市下京区西洞院通

塩小路下るキャンパスプラザ京都

各線「京都駅」下車。徒歩5分。



JR 京都駅

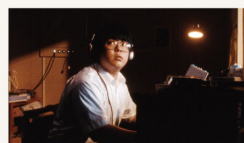
上映作品

プログラム① (バリアフリー上映)



『ひとひら』(30min)

いずみと陽一、幼馴染のふたりには、誰にも言えない秘密の遊びがあった。中学三年生の秋、ふたりはコスモス畑を探す旅に出る。はたして何も失わず、「きれいなまま」で大人になることは可能なのだろうか。「女になりたくない女の子」いずみのお話。



『こちら放送室よりトム佐へ』(15min)

1989年夏。孤独な放送部員の少年と夜間学校に通う少女が、カセットテープを通して、二人でリレーラジオドラマを作っていく物語。

プログラム②



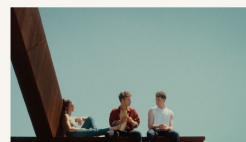
『Talker』(13min)

何年もの間、病気の夫が亡くなるまで看病をし続けたある老婆の物語。



『ワンダフル千鳥足 in ワンダーランド』(2min)

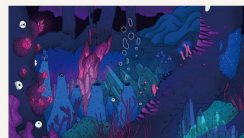
落語の技法の「道中付け」とポップカルチャーを融合して、酒と街に呑み込まれながら東京というワンダーランドを散策する自分を追いかけるセルフドキュメンタリー。



『Young, Fragile』(25min)

性的役割が変わりゆく現代、ある青年はティンダーを通して知り合ったデートの相手に刺激され、自分にとっての男らしさに従って生きることを決意。近頃の愛のカタチ、セクシュアリティ、そして、ロールモデルが反映された作品。

プログラム③



『Home』(5min)

曖昧になる現実と想像の境界線。
怖いけど知りたい—
主人公は森の中で自分自身の未知なる領域を冒険する。



『GROWING PAINS』(25min)

本作は、監督の実体験をもとに制作された。14歳のヤオは、履き潰してしまった運動靴に心底うんざりしていた。しかし、なかなか新しい靴を買ってくれない父。ところが父は突然高級な運動靴を買ってくれたのである。それが悲劇の始まりだったことを、ヤオは知る由もなかった。



『The Coral Guardian』(10min)

100年前、あるダイバーは海で亡くなった。ヘルメットに生えた珊瑚によって蘇り、海から逃げようとした。しかし、ダイバーは珊瑚礁に避難所を見つけ、滞りて世話をすることにした。

トークショーゲスト 木下千花 教授

1994年東京大学教養学部(比較日本文化論)卒業。1996年東京大学大学院総合文化研究科修士課程(表象文化論)修了。1997年よりフルブライト奨学生としてアメリカのシカゴ大学大学院に留学し、2007年、PhD(東アジア言語文明学・映画メディア学)を取得。ユタ州立大学、アイオワ大学、ミシガン大学で日本映画を教える。2006年から2010年までカナダのウェスタン・オンタリオ大学映画学科助教授。静岡文化芸術大学准教授、首都大学東京准教授を経て、2016年4月より現職。『溝口健二論—映画の美学と政治学』(法政大学出版局、2016年)の成果により第67回芸術選奨新人賞(評論等部門)を受賞。

第24回京都国際学生映画祭

2022年2月にオンライン同時開催決定!

プレイベントにて <入選作品・最終審査員> 発表



@kisfvf

@kisfvf_official/

主催：公益財団法人 大学コンソーシアム京都
企画・運営：第24回京都国際学生映画祭実行委員会
運営支援：京都国際学生映画祭企画検討委員会